

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2020年2月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール

ピアノ部門:2019.5.25(土)~6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)~6.30(日)

ヴァイオリン:シャノン・リー (第7回ヴァイオリン部門最高位(第2位))

東京交響楽団 名曲全集 第152回 演奏レポート

文: 松本 學 (音楽評論家)

2019年12月14日 演奏曲目/ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26 会場/ミュゼザ川崎シンフォニーホール

第7回仙台国際音楽コンクールで最高位を得てから半年を経た2019年12月、シャノン・リーが東京交響楽団との共演のために再び日本に戻ってきた。コンクールからさほど時経っておらず、さらにセミファイナルのバルトークとファイナルのモーツァルトを収めた受賞記念ライブCD(とブラームス第2ソナタが入ったエリーザベト王妃国際音楽コンクール・ライブCD)もリリースされて程なかったこともあり、彼女の演奏についてはイメージが薄れてはいなかったものの、それでもこの半年という期間での彼女の成長や、コンクールの課題曲でなかったブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番が聴けることに期待が高まったのは言うまでもない。

結論から言えば、彼女の演奏は満足はいくものだった。リーによれば、ブルッフのこの協奏曲は最初期に学んだコンチェルトのひとつで、かなり久しぶりに取り上げるとのことだったが、その分フレッシュな感性が横溢する聴き応えのある仕上がりとになった。もとよりテクニックの高さは仙台で目の当たりにしていたし、それ以外でもエリーザベト王妃コンクールやハイフェッツ音楽祭の記録映像などから十分にうかがい知れる。

全体としては、リーのアプローチは、慣習的なスタイルに基づいたもので、例えば楽譜上は**f**とされている第1楽章(前奏曲)冒頭の独奏の入りは、息を潜めるような繊細な弱音で開始する。あるいは、同じく第1楽章の後半で独奏ヴァイオリンが半音階上行スケールの後に分散和音を連続させながらクレッシェンドしてゆく場面があるが、その最後の部分でオーケストラに付された**p**に合わせて音量を落とすところなどがわかりやすい例だ(クリスティアン・フェラスを例外とし、特に前者はほとんどのヴァイオリニストがそのように演奏する)。また、素直で健康的、自然な音楽作りは、リー自身の素直な人柄がそのまま表れたようでとても好感が持てる。音も美しく磨かれ、E線のハイトーンはつややかで輝かしく、G線の太い低音も深さ、遅しさ、愁いなど表情豊か。と同時に、両端楽章のエネ르기ッシュさや、第2楽章の甘美な抒情性といった音楽のキャラクターの描き分けは明確だ。テンポの面でもラプソディックな第1楽章ではフレーズの各所に記されたエスプレッシオーヴォの部分を中心に緩急を付けたっぷりと歌いこみ、また第1、第3楽章のメカニカルな箇所ではきちりとリズムをキープするなど、細かな配慮を見せている。こういった楽想を的確につかんでゆくところは、仙台のコンクールでモーツァルトとバルトーク、チャイコフスキーのキャラクターを自然に弾き分けたセンスのよさそのままだ。ヴィブラート、ポルタメントもよい塩梅で、ブルッフらしいロマンと爽やかさを丁寧に表現していた。リーの演奏について欲を言うならば、デュナーミク(強弱の差)に一層の幅を出すこと、ピッチ(音程)、特に重音のその精度を上げること、そして表現をより確信的なものへと深めること……これらが今後の課題と言えるだろう。

最後に、指揮の秋山和慶と東京交響楽団が素晴らしいサポートを聴かせたことも特筆しておきたい。「秋山さんは作品を熟知しており、オーケストラともすぐに分かり合えてとてもやりやすかった」と、リハーサル初日を終えた時点で彼女も語っていた。コンサートマスター水谷晃率いる東響の個々の奏者の完成度の高さと、トゥッティのふくよかさ、ソロを盛り立てようという姿勢は実に感動的だった。次の3月の仙台フィルとの共演や6月のリサイタルも実に楽しみだ。

第7回ヴァイオリン部門最高位 シャノン・リー 出演

仙台フィルハーモニー管弦楽団
第335回定期演奏会

指揮/飯森範親

3月6日(金) 19:00 開演

3月7日(土) 15:00 開演

会場: 日立システムズホール仙台

【演奏曲目】

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲
第3番 ト長調 K216 ほか

【チケット情報】

S席: 5,000円、A席: 4,500円
Z席: 2,000円 ほか

【お問い合わせ】

仙台フィルサービス 022-225-3934



第7回仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念

シャノン・リー ヴァイオリンリサイタル

東京公演 6月19日(金) 19:00 開演
会場: 浜離宮朝日ホール

仙台公演 6月21日(日) 14:00 開演
会場: 日立システムズホール仙台

【演奏曲目】バルトーク: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Sz76
武満 徹: 妖精の距離 ほか

【東京公演チケット情報】

一般 3,500円、シルバー(65歳以上) 3,000円、ユース(25歳未満) 1,500円 ほか
プレイガイド: 朝日ホール・チケットセンター、仙台市市民文化事業団、チケットぴあ
ローソンチケット、イープラス

【仙台公演チケット情報】

一般 3,000円、シルバー(65歳以上) 2,500円、ユース(25歳未満) 1,500円 ほか
プレイガイド: 仙台市市民文化事業団(日立システムズホール仙台、仙台銀行ホール
イズミティ21)、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス ほか
※セット券・市民文化事業団友の会料金有。詳しくは公式サイトをご覧ください。



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp